



公明党 長谷部 竜作 議員

シテイセールスについて

問 人口減少対策である移住・定住を促進するには、シテイセールスが大事だと思いますが、市長の考えはどうですか。

答 市長 移住・定住の促進を図り、人口減少に歯止めをかけることは重要だと考えています。そのためには、市のことをより多くの人に知ってもらうことが必要であり、シテイセールスの取り組みは大変重要であると考えています。

問 市は、以前にウッドスタート宣言をしましたが、これはシテイセールスの側面も含まれると考えてよろしいか伺います。

答 経済環境部長 木育推進の1つの手法として、ウッドスタート宣言をしました。市内外に、木育の取り組みや市の活動方針を示すことにより、

シテイセールスにつながるものと考えています。



サンブスギを使用した木製玩具

問 市はオリンピック・パラリンピックでのスリランカのホストタウンです。この取り組みも、シテイセールスの側面があると考えますが、どうですか。

答 総務部長 2020年東京大会開催決定を受け、いち早く対応を図ったことで、平成28年1月に第1次登録のホストタウンとして、全国でも44自治体、千葉県では唯一の承認を受けられたことは、大きな成果であったと考えます。

その後も、スリランカ国との交流事業等、継続的な取り組みや民間団体との共催イベントなどにより、ホストタウンのPRに努めているところです。これらは、シテイセールスにつながっていると考えています。

問 これら2つの事業は、市のシテイセールスにどのように寄与しているのか伺います。

答 総務部長 両事業とも、他の自治体に先んじた取り組みでしたので、報道等でも取り上げられ、市のシテイセールスに寄与したと考えていますが、その後の取り組み内容については、市外また市民の方を含め、十分にアピールができていない状況であると感じています。

問 本須賀海水浴場において、ビーチの国際環境認証であるブルーフラッグ取得に向けて取り組んでいます。これはシテイセールスを狙った取り組みですか。

答 経済環境部長 メディアを活用したPRのほか、さまざまな媒体を利用して、シテイセールスにつなげていきたいと考えています。また、ブルーフラッグは、国内では余り聞きなれていませんが、海外では環境や安全に配慮したビーチとして認知度も高い状況にあり、国内で3番目、県内初の認証取得を目指すことで、外国人旅行者の需要も考え、美しい海岸を守りながら、次世代につなげていければと考えています。

空き校舎について

問 災害時の避難所・避難場所となる、日向小学校、山武西小学校の2校が閉校予定ですが、閉校後の利活用

予定はどう考えていますか。

答 市長 教育部教育総務課、学校再編推進室、総務部財政課、企画政策課及び保健福祉部子育て支援課の関係部署で協議をし、今後の利活用の検討を進めているところです。

また、利活用の検討を進める上で、地域住民からの意見等に十分配慮し、地域コミュニティの場としての地域振興や民間企業等の誘致により、地域経済の活性化及び雇用対策にもつなげていきたいと考えています。

加えて、災害時の避難場所や選挙の投票所としても使用されているところであり、柔軟な利活用を検討していく必要があると考えています。



統合が予定されている山武西小学校